

帝石トッピングプラント（株）における油流出について

平成 18 年 1 月 19 日

帝国石油株式会社

当社 100%子会社である帝石トッピングプラント（株）頸城製油所（新潟県上越市：社長山本一雄）内の貯蔵タンクより粗製ガソリンが漏洩した事実が 1 月 18 日、明らかとなりました。同社ではこれまで漏洩した油の約 8 割を回収いたしておりますが、現在までに住民からの異臭、苦情などの問い合わせはありません。今回の油漏洩につきまして下記のとおりご報告いたします。

1. 事実の内容

No19 タンクより粗製ガソリンであるヘビーナフサが約 80 キロリットル漏洩し、18 日現在約 60 キロリットル回収しております。なお、現在回収作業中です。

2. 経 過

平成 17 年 12 月 31 日、製油所に隣接する新堀川に油膜があることを同社社員が発見。翌 1 月 1 日漏洩の可能性があるタンクの使用を停止し、消防、新潟県を初めとする関係機関に報告すると共に、新堀川への流出防止対策の実施及び回収作業を開始しました。

その後の調査の結果、No19 タンクから漏洩の可能性が高いことが判明した為、ヘビーナフサを移送し、1 月 6 日に内部検査を行いタンク底板に穴（直径 1 c m）の存在を確認しました。ヘビーナフサの製造量等の記録から漏洩が始まった日の特定調査並びに漏洩確認のため水張りテストを実施した結果、1 月 18 日、これらの調査により漏洩量が約 80 キロリットルである事が確認された事から上越北消防署及び新潟県、大潟区に報告しました。

3. 原 因

最終的な原因については特定できていませんが、現時点ではタンク底面の腐食の可能性が考えられます。

この度の油流出に関し、近隣の皆様をはじめ、関係各方面に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。当社といたしましては、この事態を深刻に受け止め早急に原因の究明、土壌対策等、今後万全の防災対策を講じるよう同社に対して監督、指導していく所存でございます。

以上